

ニッケイ俳壇

(1081)

伊那 宏選

須賀吐句志

春愁よく似た癖が我が子にも
春愁や日本語使はぬ孫ばかり
物忘れだけ良くなり山笑ふ
ネクタイの似合ふ青年風光る
夢語る若き二人に風光る

サンバロ

余生なほ

「種を蒔く」とは土に播種するという物理的な意味合い、希望の種を蒔くという場合の抽象的な意味合いがある。本句は明らかに後者に属し、第二の故郷たるこの国に生き、老いてなお何か意義あるものに取り組み、前向きになつていく姿を詠んでいる。過去多くの類似句が生れてきたが、コロナ禍の今だからこそうつた強い思いは説得力を持つ。

サンバロ

移住せしことに悔なし

山笑ふ日々増しゆく物忘れ
すれ違ふ鞆に恋生れ
鞆を天まで漕いで反抗期

サンバロ

病み上がり春光浴びる屋下り

春光に丘の牧場草千里
池の岸青葉に吊るる蝌蚪の紐

サンバロ

春愁をばに難し

「私たちが日本人が外国に住んで、その国の言語だけが組み込まれたスマートフォンを操るのは、はっきり言って手に負えない代物だ。高齢になると視力も衰え、横文字も思うに任せないのてつい敬遠しがち。せめて電話による通話だけでもいい。高齢者は世の進歩からますます遅れてしまう。作者の愁いはまさに私自身の愁いでもある。身につまされる句である。」

サンバロ

息荒げジョギングコース

山笑ふ儲かぬ国に移民老ふ
蘇る大正口春がすま
おたまじやくし未は蛙と誰が知る
風光るビルの谷間の狭き庭

サンバロ

うすれゆくウイレド

原爆忌記憶なくれど春威や春愁ひ
進まざる核不拡散原爆忌
鞆に乗りぬままり障子見
蝌蚪の腹つさめぬやうに掌に

サンバロ

春愁や一つを取り

ミナス路の丸き山々笑ひをり
心まで老いてはならず種を蒔く
挨拶は手を振るだけ風光る
履き心地良きスニーカー風光る

サンバロ

余生生く無頼に暮らす山笑ふ

見上げれば笑顔あふれる春の空
青空に春のうす雲自然昇
意気消沈コナ過ぎれば風光る

サンバロ

誰が先に飛べるか

春愁やよき似た癖が我が子にも
春愁や日本語使はぬ孫ばかり
物忘れだけ良くなり山笑ふ
ネクタイの似合ふ青年風光る
夢語る若き二人に風光る

誰が先に飛べるか
フチマド・スール
那須 千草

着る当てもなき服作り山笑ふ
「誰のものとも決めていない暇に任せて作った服。衝動縫い。とても言うおうか、何となく作つてみたかたに過ぎない。コロナ禍の自粛生活で何かをしてあげたいと思いがそうさせたのか。出来上がったものを見て本人が苦笑い。山も微笑。うららかな春のひと日、読者もついつらられて……」

サンバロ

種時を控へ肥料の山と積む

サンジョンの花かんざしや幼き日
孫が乗るブランコを押しやり
孫来ないブランコなせか寂しさう

サンバロ

縮緬を蒔きし昔を懐かしむ

春来ても新型コロナ増すばかり
花も無き庭を飾りて実方両
久に見る遠き山々風光る
忘れらるる葱畑に葱坊主

サンバロ

イペイ咲く沈みし心楽しませ

窓の外つじ満開も晴れて
鉢植にマモンの種を蒔きけり
春近し世界の平和祈りけり
生かされて命大事に春を待つ

サンバロ

花言葉にあやかりたきや種を蒔く

種時も機械化なるや大耕地
引き際の見えぬコナ種春愁ふ
米寿祝ぐ友の句集や風光る
二輪車漕ぐ乙女ピアス風光る

サンバロ

今年また会へし喜び黄イペイ

花種を蒔きてゆとの生れけり
「コロナ禍における殺伐とした日々の中、私たちがは心のゆとりを失おうとしている。物事への意欲を失おうとしている。そんな中、作者は花種を蒔いてゆとりを得たとおっしゃる。町住まいゆえ花種を蒔く場所もかぎられていようか、ともかく花が咲くまでの小さな幸せを獲得したのである。」

サンバロ

「花種」と言えま、誰もか

せよと日々研鑽してはいるは言うまでもないこと。私たちは俳句によって希望とゆとりのある生活を実践しているわけである。

サンバロ

こころと食へるスイーツ山笑ふ

「こころと食へるスイーツ山笑ふ。柔らかい愛を語りし日も遠く。柔らかい愛を語りし日も遠く。柔らかい愛を語りし日も遠く。」

サンバロ

子供らも魚も飛び跳ね山笑ふ

春愁やうつと語朝の庭
風光る孫等流刺ボール蹴る
おたまじやくし足生え跳ねて草の中

サンバロ

帰るかな種蒔終へ日暮暮れて

苗植えて大事に育てイペイ咲く
イペイの花初めに咲いて嬉しかな
懐かしやおたまじやくしの居た小川
ふらこや子供のを思い出す

サンバロ

春愁や来ぬ友を待つわびしさに

イペイ咲くカラムの園に遊びけり
クロバリの四葉の芽生え待ちけり
コロナ禍を知らずに咲くや葱坊主
祇園さんの枝垂れ桜や日本旅

サンバロ

山笑ふ出ず目立たずとも手紙

肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

サンバロ

イペイ散る花びらひとつ我が髪に

「満開のイペイをその下に立てて眺めていたら、はら散る花びらひとつの髪に落ちてきた。とくなく、イペイの二つ三つの花の命は短い。風もないのに散り落ちる。桜のような風情はないが、偶然我が髪に落ちた花びらを手にとつて、それをおしむ作者の心の在り処が伝わってくる。自然を愛する日本人の文化が生み出した心の一句である。」

サンバロ

山頂に立てば万歳山笑ふ

山笑ふ出ず目立たずとも手紙
肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

山笑ふ出ず目立たずとも手紙
肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

イペイ散る花びらひとつ我が髪に
「満開のイペイをその下に立てて眺めていたら、はら散る花びらひとつの髪に落ちてきた。とくなく、イペイの二つ三つの花の命は短い。風もないのに散り落ちる。桜のような風情はないが、偶然我が髪に落ちた花びらを手にとつて、それをおしむ作者の心の在り処が伝わってくる。自然を愛する日本人の文化が生み出した心の一句である。」

サンバロ

山頂に立てば万歳山笑ふ

カブトキキ孫の手作り春の味
陽を浴びてどこか愛らし葱坊主
ふらこや空をめぐりて漕ぎし日も

サンバロ

春の箱愛の思ひ出しまひけり

「春の箱」とは何であるか。たぶん作者の胸の中にある「秘密」という名の目に見えない小さな宝の箱のこと。そこには永遠に取り出すこともない思い出や、誰かにそと打ち明けてみたい思い出も仕舞い込まれている。過ぎ去つた愛もしい思い出や陶酔的な、詩的感性をくまに、俳句の広い世界に自己投影を試みられた作者の意欲を評価したい。

サンバロ

年重ぬるくらし知る春時雨

春愁やひねもす読書にひたりける
いにしえより結ばれし縁風光る(別稿より)
朝市や籠いばいに春をば(〃)

サンバロ

古小鉢並べ期待の種を蒔く

いまるを共に語るを終戦日
山嶺へ貨車留置置かれ山笑ふ
黒土の畦もまっすぐ葱坊主
秘密裡にひめき合つて葱坊主

サンバロ

健気なる昔はほどもイペイ咲く

空の青空に織りなす花イペイ
余生とて明日への望み風光る
駆ける兎にも追いつけず風光る
風光る一から始まる万歩計

サンバロ

わらべ等の声ひびきあひ山笑ふ

若駒の足音高く蹴の道
一世も絶滅危惧種春愁ふ
「日本の歴史が生み出した移民政策によって広く海外に移住した大和移民たち。祖国繁栄、人口減少の末に後継が断たれ、その地に孤立する人々なくされて生きてきた私たちが移民二世は今、生物学上の「絶滅危惧種」というカテゴリーに位置付けられた。もちろん隠微的に(たんにに抑圧的に使われている)の真に受けるべき言葉ではないが、どなたかの思い付きによる言葉が、俳句に登場したインパクトは見逃せない。おそろく作者は興味にかられて詠まれたのだろう。読者も「興をそられて読んだにちがいない。いずれも自嘲の笑みをこめて」

サンバロ

コロナ禍も樹木は知らず風光る

影させばパッと逃げ散る蝌蚪の群れ
イペイ色も多々あり桃白黄
欲深き世界となりし山笑ふ
春愁やいつまでつづくこもりか

サンバロ

花イペイ色も多々あり桃白黄

欲深き世界となりし山笑ふ
春愁やいつまでつづくこもりか

サンバロ

山笑ふ出ず目立たずとも手紙

肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

サンバロ

イペイ散る花びらひとつ我が髪に

「満開のイペイをその下に立てて眺めていたら、はら散る花びらひとつの髪に落ちてきた。とくなく、イペイの二つ三つの花の命は短い。風もないのに散り落ちる。桜のような風情はないが、偶然我が髪に落ちた花びらを手にとつて、それをおしむ作者の心の在り処が伝わってくる。自然を愛する日本人の文化が生み出した心の一句である。」

サンバロ

山頂に立てば万歳山笑ふ

カブトキキ孫の手作り春の味
陽を浴びてどこか愛らし葱坊主
ふらこや空をめぐりて漕ぎし日も

サンバロ

春の箱愛の思ひ出しまひけり

「春の箱」とは何であるか。たぶん作者の胸の中にある「秘密」という名の目に見えない小さな宝の箱のこと。そこには永遠に取り出すこともない思い出や、誰かにそと打ち明けてみたい思い出も仕舞い込まれている。過ぎ去つた愛もしい思い出や陶酔的な、詩的感性をくまに、俳句の広い世界に自己投影を試みられた作者の意欲を評価したい。

サンバロ

年重ぬるくらし知る春時雨

山笑ふ出ず目立たずとも手紙
肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

山笑ふ出ず目立たずとも手紙
肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

イペイ散る花びらひとつ我が髪に
「満開のイペイをその下に立てて眺めていたら、はら散る花びらひとつの髪に落ちてきた。とくなく、イペイの二つ三つの花の命は短い。風もないのに散り落ちる。桜のような風情はないが、偶然我が髪に落ちた花びらを手にとつて、それをおしむ作者の心の在り処が伝わってくる。自然を愛する日本人の文化が生み出した心の一句である。」

サンバロ

山頂に立てば万歳山笑ふ

カブトキキ孫の手作り春の味
陽を浴びてどこか愛らし葱坊主
ふらこや空をめぐりて漕ぎし日も

サンバロ

春の箱愛の思ひ出しまひけり

「春の箱」とは何であるか。たぶん作者の胸の中にある「秘密」という名の目に見えない小さな宝の箱のこと。そこには永遠に取り出すこともない思い出や、誰かにそと打ち明けてみたい思い出も仕舞い込まれている。過ぎ去つた愛もしい思い出や陶酔的な、詩的感性をくまに、俳句の広い世界に自己投影を試みられた作者の意欲を評価したい。

サンバロ

年重ぬるくらし知る春時雨

春愁やひねもす読書にひたりける
いにしえより結ばれし縁風光る(別稿より)
朝市や籠いばいに春をば(〃)

サンバロ

古小鉢並べ期待の種を蒔く

いまるを共に語るを終戦日
山嶺へ貨車留置置かれ山笑ふ
黒土の畦もまっすぐ葱坊主
秘密裡にひめき合つて葱坊主

サンバロ

健気なる昔はほどもイペイ咲く

空の青空に織りなす花イペイ
余生とて明日への望み風光る
駆ける兎にも追いつけず風光る
風光る一から始まる万歩計

サンバロ

わらべ等の声ひびきあひ山笑ふ

若駒の足音高く蹴の道
一世も絶滅危惧種春愁ふ
「日本の歴史が生み出した移民政策によって広く海外に移住した大和移民たち。祖国繁栄、人口減少の末に後継が断たれ、その地に孤立する人々なくされて生きてきた私たちが移民二世は今、生物学上の「絶滅危惧種」というカテゴリーに位置付けられた。もちろん隠微的に(たんにに抑圧的に使われている)の真に受けるべき言葉ではないが、どなたかの思い付きによる言葉が、俳句に登場したインパクトは見逃せない。おそろく作者は興味にかられて詠まれたのだろう。読者も「興をそられて読んだにちがいない。いずれも自嘲の笑みをこめて」

サンバロ

コロナ禍も樹木は知らず風光る

影させばパッと逃げ散る蝌蚪の群れ
イペイ色も多々あり桃白黄
欲深き世界となりし山笑ふ
春愁やいつまでつづくこもりか

サンバロ

花イペイ色も多々あり桃白黄

欲深き世界となりし山笑ふ
春愁やいつまでつづくこもりか

サンバロ

山笑ふ出ず目立たずとも手紙

肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

サンバロ

イペイ散る花びらひとつ我が髪に

「満開のイペイをその下に立てて眺めていたら、はら散る花びらひとつの髪に落ちてきた。とくなく、イペイの二つ三つの花の命は短い。風もないのに散り落ちる。桜のような風情はないが、偶然我が髪に落ちた花びらを手にとつて、それをおしむ作者の心の在り処が伝わってくる。自然を愛する日本人の文化が生み出した心の一句である。」

サンバロ

山頂に立てば万歳山笑ふ

カブトキキ孫の手作り春の味
陽を浴びてどこか愛らし葱坊主
ふらこや空をめぐりて漕ぎし日も

サンバロ

春の箱愛の思ひ出しまひけり

「春の箱」とは何であるか。たぶん作者の胸の中にある「秘密」という名の目に見えない小さな宝の箱のこと。そこには永遠に取り出すこともない思い出や、誰かにそと打ち明けてみたい思い出も仕舞い込まれている。過ぎ去つた愛もしい思い出や陶酔的な、詩的感性をくまに、俳句の広い世界に自己投影を試みられた作者の意欲を評価したい。

サンバロ

年重ぬるくらし知る春時雨

山笑ふ出ず目立たずとも手紙
肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

山笑ふ出ず目立たずとも手紙
肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

イペイ散る花びらひとつ我が髪に
「満開のイペイをその下に立てて眺めていたら、はら散る花びらひとつの髪に落ちてきた。とくなく、イペイの二つ三つの花の命は短い。風もないのに散り落ちる。桜のような風情はないが、偶然我が髪に落ちた花びらを手にとつて、それをおしむ作者の心の在り処が伝わってくる。自然を愛する日本人の文化が生み出した心の一句である。」

サンバロ

山頂に立てば万歳山笑ふ

カブトキキ孫の手作り春の味
陽を浴びてどこか愛らし葱坊主
ふらこや空をめぐりて漕ぎし日も

サンバロ

春の箱愛の思ひ出しまひけり

「春の箱」とは何であるか。たぶん作者の胸の中にある「秘密」という名の目に見えない小さな宝の箱のこと。そこには永遠に取り出すこともない思い出や、誰かにそと打ち明けてみたい思い出も仕舞い込まれている。過ぎ去つた愛もしい思い出や陶酔的な、詩的感性をくまに、俳句の広い世界に自己投影を試みられた作者の意欲を評価したい。

サンバロ

年重ぬるくらし知る春時雨

春愁やひねもす読書にひたりける
いにしえより結ばれし縁風光る(別稿より)
朝市や籠いばいに春をば(〃)

サンバロ

古小鉢並べ期待の種を蒔く

いまるを共に語るを終戦日
山嶺へ貨車留置置かれ山笑ふ
黒土の畦もまっすぐ葱坊主
秘密裡にひめき合つて葱坊主

サンバロ

健気なる昔はほどもイペイ咲く

空の青空に織りなす花イペイ
余生とて明日への望み風光る
駆ける兎にも追いつけず風光る
風光る一から始まる万歩計

サンバロ

わらべ等の声ひびきあひ山笑ふ

若駒の足音高く蹴の道
一世も絶滅危惧種春愁ふ
「日本の歴史が生み出した移民政策によって広く海外に移住した大和移民たち。祖国繁栄、人口減少の末に後継が断たれ、その地に孤立する人々なくされて生きてきた私たちが移民二世は今、生物学上の「絶滅危惧種」というカテゴリーに位置付けられた。もちろん隠微的に(たんにに抑圧的に使われている)の真に受けるべき言葉ではないが、どなたかの思い付きによる言葉が、俳句に登場したインパクトは見逃せない。おそろく作者は興味にかられて詠まれたのだろう。読者も「興をそられて読んだにちがいない。いずれも自嘲の笑みをこめて」

サンバロ

コロナ禍も樹木は知らず風光る

影させばパッと逃げ散る蝌蚪の群れ
イペイ色も多々あり桃白黄
欲深き世界となりし山笑ふ
春愁やいつまでつづくこもりか

サンバロ

花イペイ色も多々あり桃白黄

欲深き世界となりし山笑ふ
春愁やいつまでつづくこもりか

サンバロ

山笑ふ出ず目立たずとも手紙

肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

サンバロ

イペイ散る花びらひとつ我が髪に

「満開のイペイをその下に立てて眺めていたら、はら散る花びらひとつの髪に落ちてきた。とくなく、イペイの二つ三つの花の命は短い。風もないのに散り落ちる。桜のような風情はないが、偶然我が髪に落ちた花びらを手にとつて、それをおしむ作者の心の在り処が伝わってくる。自然を愛する日本人の文化が生み出した心の一句である。」

サンバロ

山頂に立てば万歳山笑ふ

カブトキキ孫の手作り春の味
陽を浴びてどこか愛らし葱坊主
ふらこや空をめぐりて漕ぎし日も

サンバロ

春の箱愛の思ひ出しまひけり

「春の箱」とは何であるか。たぶん作者の胸の中にある「秘密」という名の目に見えない小さな宝の箱のこと。そこには永遠に取り出すこともない思い出や、誰かにそと打ち明けてみたい思い出も仕舞い込まれている。過ぎ去つた愛もしい思い出や陶酔的な、詩的感性をくまに、俳句の広い世界に自己投影を試みられた作者の意欲を評価したい。

サンバロ

年重ぬるくらし知る春時雨

山笑ふ出ず目立たずとも手紙
肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

山笑ふ出ず目立たずとも手紙
肘鉄砲ときき挨拶山笑ふ
花時の老も若きも生き生きと
バス待つて涙の美風光る
忙しげに活気づく街風光る

イペイ散る花びらひとつ我が髪に
「満開のイペイをその下に立てて眺めていたら、はら散る花びらひとつの髪に落ちてきた。とくなく、イペイの二つ三つの花の命は短い。風もないのに散り落ちる。桜のような風情はないが、偶然我が髪に落ちた花びらを手にとつて、それをおしむ作者の心の在り処が伝わってくる。自然を愛する日本人の文化が生み出した心の一句である。」

サンバロ

山頂に立てば万歳山笑ふ

カブトキキ孫の手作り春の味
陽を浴びてどこか愛らし葱坊主
ふらこや空をめぐりて漕ぎし日も

AUTOS

aty@globo.com

Amauri Teruo Yamazaki - São Paulo - SP

Brasil com Honda de automóveis vendeu 2 milhões de unidades

Honda completa dois milhões de automóveis comercializados no Brasil



Fábrica da Honda Automóveis na cidade de Sumaré - SP.

Honda é a líder em vendas de automóveis no Brasil desde 1992, ano em que iniciou suas operações no país. A marca completou dois milhões de unidades comercializadas no Brasil em setembro de 2020.

Honda é a líder em vendas de automóveis no Brasil desde 1992, ano em que iniciou suas operações no país. A marca completou dois milhões de unidades comercializadas no Brasil em setembro de 2020.

Honda é a líder em vendas de automóveis no Brasil desde 1992, ano em que iniciou suas operações no país. A marca completou dois milhões de unidades comercializadas no Brasil em setembro de 2020.

Honda é a líder em vendas de automóveis no Brasil desde 1992, ano em que iniciou suas operações no país. A marca completou dois milhões de unidades comercializadas no Brasil em setembro de 2020.

Honda é a líder em vendas de automóveis no Brasil desde 1992, ano em que iniciou suas operações no país. A marca completou dois milhões de unidades comercializadas no Brasil em setembro de 2020.

Honda é a líder em vendas de automóveis no Brasil desde 1992, ano em que iniciou suas operações no país. A marca completou dois milhões de unidades comercializadas no Brasil em setembro de 2020.

Honda é a líder em vendas de automóveis no Brasil desde 1992, ano em que iniciou suas operações no país. A marca completou dois milhões de unidades comercializadas no Brasil em setembro de 2020.

Honda é a líder em vendas de automóveis no Brasil desde 1992, ano em que iniciou suas operações no país. A marca completou dois milhões de unidades comercializadas no Brasil em setembro de 2020.

Honda é a líder em vendas de automóveis no Brasil desde 1992, ano em que iniciou suas operações no país. A marca completou dois milhões de unidades comercializadas no Brasil em setembro de 2020.

Toyota anuncia mudança da sede de São Bernardo para Sorocaba



Fábrica da Toyota em São Bernardo do Campo comemorou em 2015, o "reborn", revitalização com investimentos como o Centro de Pesquisa Aplicada e o Centro de Visitantes contando a história da empresa.

A Toyota do Brasil anunciou na última sexta-feira (18) que vai mudar a sede administrativa de São Bernardo do Campo para Sorocaba, no interior do estado de São Paulo. O comunicado foi realizado através de um vídeo do presidente da empresa Rafael Chang, gravado com antecedência, já que a maioria dos funcionários da parte administrativa está em home office. De acordo com o comunicado, a mudança faz parte do planejamento para tornar a empresa mais ágil e competitiva. A fábrica de São Bernardo vai continuar produzindo

componentes como bielas e virabrequins para os automóveis da marca. A notícia foi confirmada pelo presidente do Sindicato dos Metalúrgicos de Sorocaba e região que comemorou: "A sede administrativa é o cérebro da empresa e a vinda para Sorocaba só reforça a importância que a planta da cidade conquistou ao longo dos anos. Além disso, teremos a geração de mais ou menos 600 empregos, que é uma excelente notícia, especialmente para o momento de crise no qual passamos". Junto com a mudança, a Toyota também anunciou que

abriu um Programa de Demissão Voluntária (PDV), que será destinado para 300 trabalhadores do administrativo em todo país. A medida não atinge trabalhadores da produção. Após o comunicado do presidente, os diretores de cada área administrativa, entraram em conferência com suas equipes pela internet, para dar mais detalhes sobre a mudança para Sorocaba. A cidade de São Bernardo do Campo perdeu recentemente a fábrica da Ford e agora não vai contar com o administrativo e toda a diretoria da Toyota na região.

Honda WR-V 2021 ganha nova versão de entrada



Caio Mattos

Honda WR-V modelo 2021 nas versões EX e EXL o conjunto ótico é de LED. Nova cor Azul Cósmico metálico.

SUV da Honda ganhou atualizações no visual e mais equipamentos para enfrentar a concorrência. A Honda Automóveis do Brasil apresentou a linha 2021 do utilitário esportivo compacto que ganhou novo design, mais equipamentos em todas as versões.

O modelo ganhou atualizações estéticas na dianteira mantendo a imponência do veículo. A nova grade frontal vem com área cromada mais estreita, os faróis foram redesenhados e os faróis de neblina (em todas as versões) ganharam nova moldura com lâmpadas em LED, nas versões EX e EXL. Nas versões EX e EXL o conjunto ótico é de LED.

Na traseira o para-choque acrescentou 6,7 cm no comprimento do carro e friso superior da placa que antes era cromado, agora é na cor do veículo.

De acordo com a Honda, o modelo tem altura mínima do solo superior ao do VW Nivus, Nissan Kicks e Ford EcoSport, sendo um item importante em um país com vias mal conservadas.

Segurança: Toda a linha 2021 passa a contar com controle de estabilidade e tração (VSA), assistente de partida em subida (HSA) e alerta de frenagem de emergência de série (ESS). O modelo também traz sensor crepuscular com regulagem de altura do fecho. Todas as versões trazem airbags frontais, freios ABS com distribuição eletrônica de frenagem (EDB) além de estrutura de deformação progressiva e barras de proteção nas portas. A versão EX acompanha airbags laterais e a versão EXL vem com seis airbags com a adição dos laterais tipo cortina.



Caio Mattos

Na traseira o para-choque acrescentou 6,7 cm no comprimento do carro e friso superior da placa que antes era cromado, agora é na cor do veículo.

Rodas: De 16 polegadas, sendo que nas versões EX e EXL vêm com acabamento escurecido.

Nova versão LX: Para aumentar a sua gama de clientes o modelo agora passa a ter 3 versões: LX, EX e EXL. A nova versão LX tem com central multimídia de 5 polegadas e dois airbags com preço bastante competitivo.

Versão EX: Ar-condicionado digital e automático touchscreen, central multimídia de 7 polegadas, conectividade com os sistemas Apple CarPlay e Android Auto. Apoio de braço no console central, painel bluemeter e volante revestido em couro.

Versão EXL: Ganhou sensores de estacionamento traseiros e dianteiro e sistema de áudio com 2 tweeters adicionais além dos 4 alto-falantes. Bancos revestidos em couro, navegador GPS, retrovisores eletricamente rebatíveis e espelho interno fotocromático.

Interior: No interior nova padronagem de maior qualidade e relevo no tecido dos bancos. Já a versão EXL traz nova costura preta nos bancos de couro. O painel ganhou a utilização da cor black piano e detalhes cromados. Um

dos atrativos do modelo continua sendo os bancos Magic Seat que permite diversas configurações.

Motor: Não sofreu alteração, sendo mantido o eficiente 4 cilindros, 1.5 i-VTEC, flex, aspirado com 115/116 cv de potência disponível a 6.000 rpm.

Torque de 15,3 kgf.m a 4.800 rpm com etanol e 15,2 kgf.m a gasolina. A transmissão CVT possui conversor de torque proporcionando aceleração linear. Nas versões EX e EXL o modelo traz paddle shifts para troca de marchas.

Nova Cor: Nova cor a Azul Cósmico (metálico), que se soma ao Branco (sólido), Prata Platinum (metálica), Cinza Barium (metálica), Preto Cristal, Branco Estelar (perolizada) e Vermelho Mercúrio (perolizada).

Melhor Valor de Revenda: De acordo com a Kelley Blue Book Brasil especializada em informações automotivas, o WR-V desvalorizou 38,7% a menos que o seu concorrente A, e 47,7% a menos que o seu concorrente B.
Preços WR-V modelo 2021
LX: R\$ 83.400,00
EX: R\$ 90.300,00
EXL: R\$ 94.700,00
Garantia de 3 anos sem limite de quilometragem.